

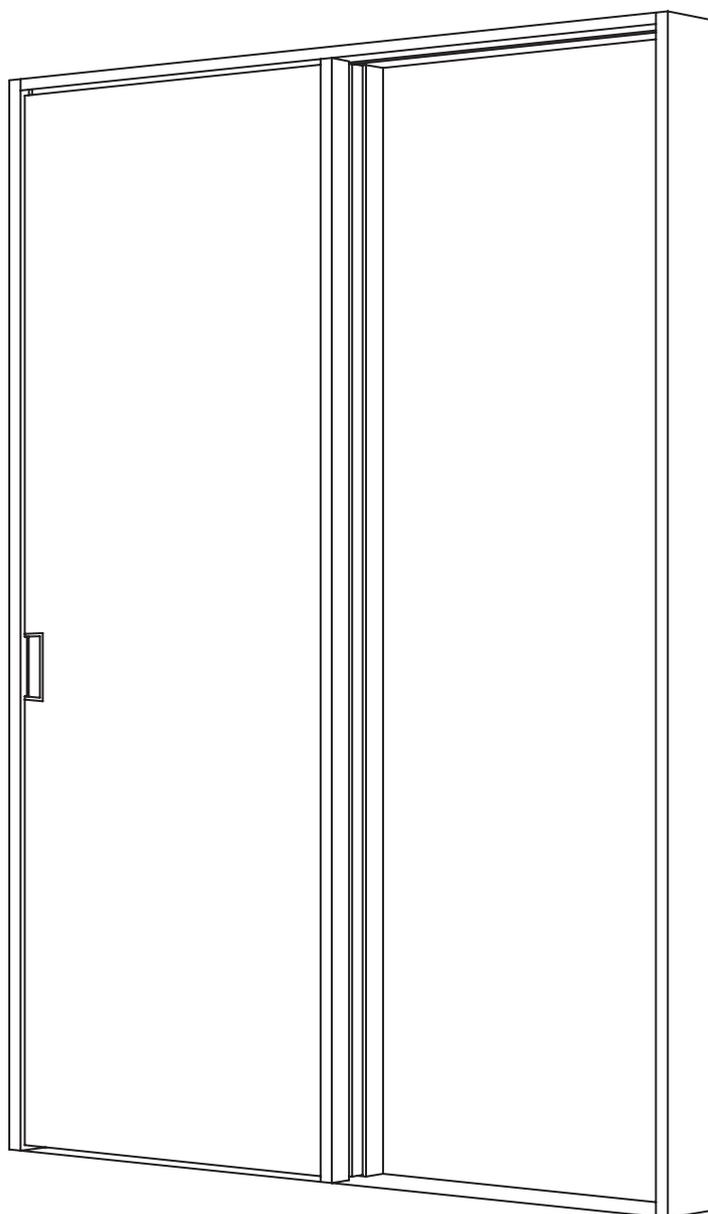
miratap

建具

ノッポ 壁内引き込み戸

組立設置説明書 04-NOP17S-03

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、養生材等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



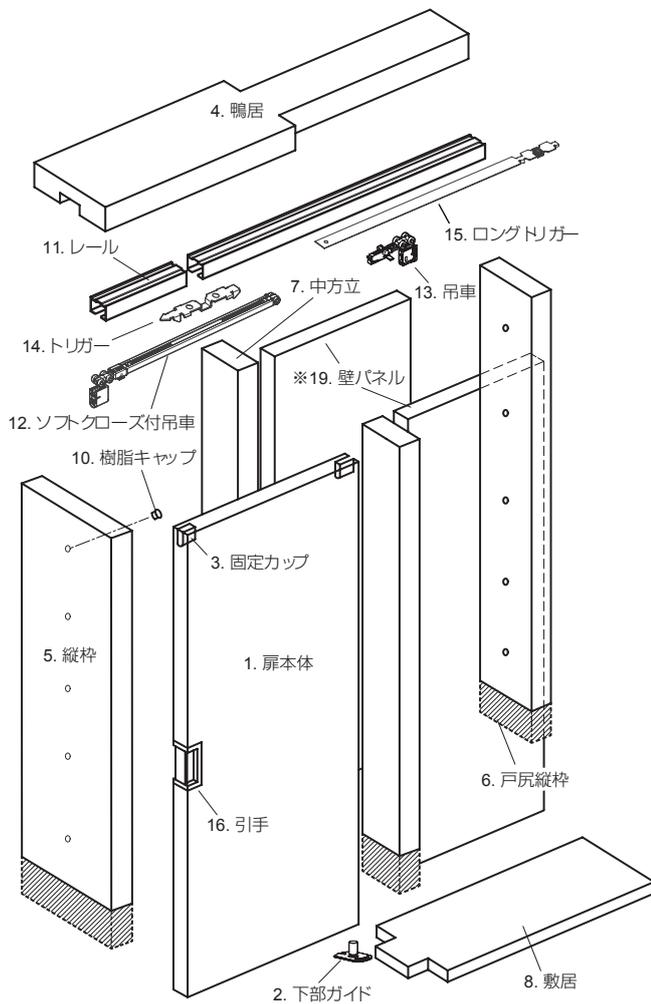
扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



枠の組立てには、同梱のビス・ネジを使用してください。

他のビス・ネジを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図



床に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。

※ 壁パネルはオプション品 (H2400以下に対応)

《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体	1
2	下部ガイド	1
	取付ビスM4×16	2
3	吊車固定カップ(取付済)	2

《枠》

番号	名称	数量
4	鴨居	1
5	縦枠	1
6	戸尻縦枠	1
7	中方立	2
8	敷居	1
9	枠組立ビスφ4.0×50	4
10	施工用ビスセット 樹脂キャップ 枠取付ビス φ4.0×50	5(6) 16(18)
11	レール(同梱) 取付ビスφ3.5×32	9
12	ソフトクローズ付吊車 (固定カップ別)	1
13	吊車 (固定カップ別)	1
14	トリガー 取付ビスφ4.0×16 治具	1 2 1
15	ロングトリガー 取付ビスφ4.0×16	1 1

※上記数量は必要数量です。ビス・ビスキャップは上記数量より多い場合があります。

《引手》

番号	名称	数量
16	引手(明細は13ページ参照)	1

《錠》(オプション)

番号	名称	数量
17	引戸用鎌錠	1
18	鎌錠受け	1

《壁パネル》(オプション)

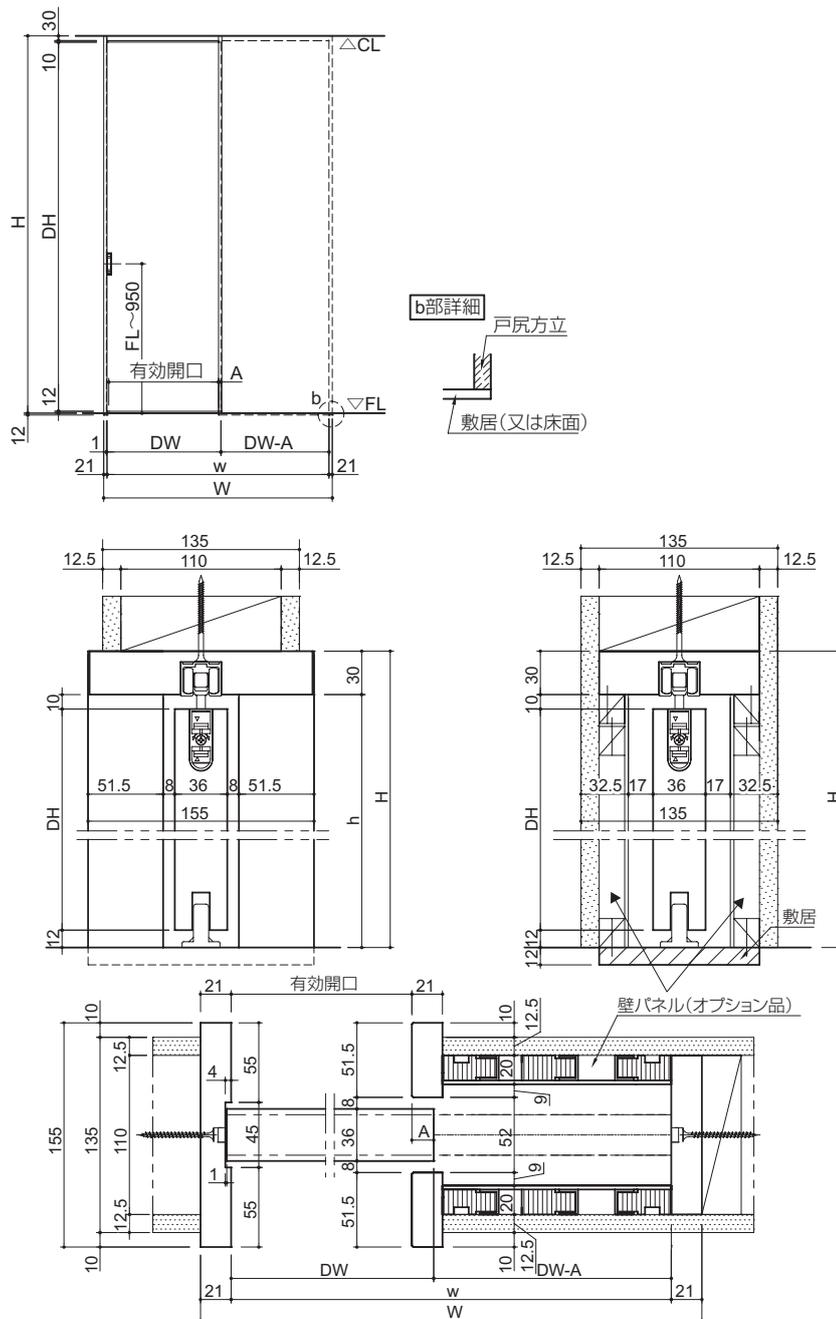
番号	名称	数量
19	壁パネル	2

《その他》

番号	名称	数量
20	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

※ () の数量は H2401~2700までの特注の場合。

2 寸法図



W	H	A	建具寸法 DW × DH	枠内寸法 w × h	枠外寸法 W × H + 12	敷居寸法	壁パネル寸法 w1 × h1	有効開口
1190	2100	15	583 × 2048	1148 × 2070	1190 × 2112	604	561 × 2069	565
	2400		583 × 2348	1148 × 2370	1190 × 2412		561 × 2369	
1450	2100		713 × 2048	1408 × 2070	1450 × 2112	734	691 × 2069	695
	2400		713 × 2348	1408 × 2370	1450 × 2412		691 × 2369	
1645	2100	16	811 × 2048	1603 × 2070	1645 × 2112	832	789 × 2069	792
	2400		811 × 2348	1603 × 2370	1645 × 2412		789 × 2369	
1745	2100		861 × 2048	1703 × 2070	1745 × 2112	882	839 × 2069	
	2400		861 × 2348	1703 × 2370	1745 × 2412		839 × 2369	
1190	2700	15	583 × 2648	1148 × 2670	1190 × 2712	604	—	565
1450			713 × 2648	1408 × 2670	1450 × 2712	734	—	695
1645		16	811 × 2648	1603 × 2670	1645 × 2712	832	—	792
1745			861 × 2648	1703 × 2670	1745 × 2712	882	—	842

※枠見込み巾は155のみとなります。

※H2401~2700mmは特注扱いとなります。

※H2401以上は壁パネルの設定がございません。

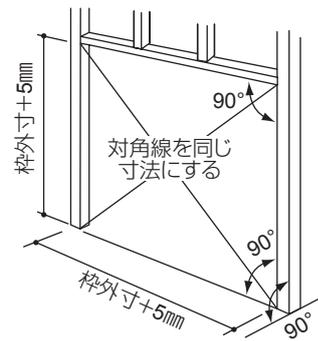
3 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

	3尺間口以下	4.5尺間口以上
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上

- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。垂直、水平がでない場合、右記の原因となります。

図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。



4 施工の前に

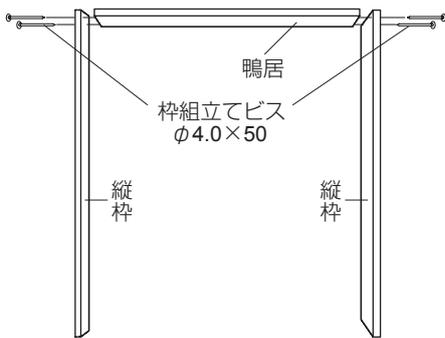
枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。

枠を床下に埋めこむ場合は枠下端を床厚さに合わせてカットしてください。

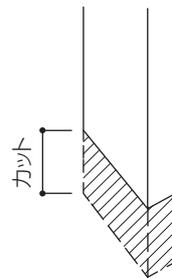
詳細は寸法図を確認してください。

三方枠を組立ててください。

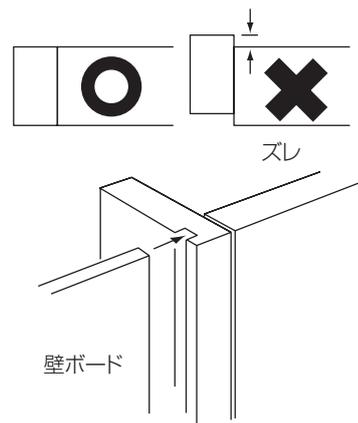
※枠組立てビスをご使用ください。



固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



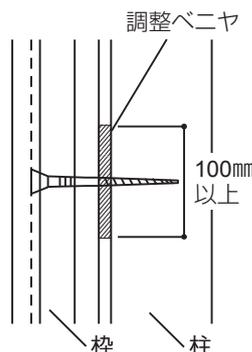
※縦枠と鴨居にズレがないことを確認してください。



5 施工手順

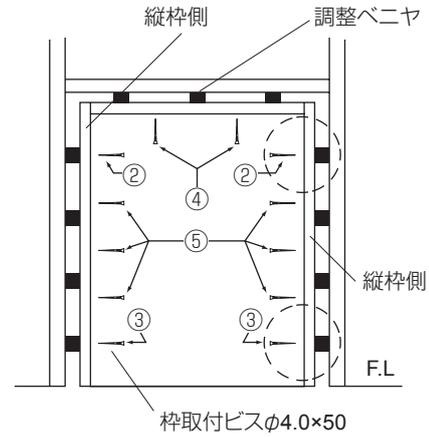
《開口部への枠の取付け》

- ① 枠を固定する際は、枠取付ビスの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度×高さ＝100mm以上）を入れてください。



手順②③④⑤部分の調整ベニヤは左図のように入れてください。

- ② 枠を開口部にはめこんで縦枠側の上部を枠取付ビスで仮固定してください。
- ③ 下げ振り等を使って垂直をだしてから、縦枠の下部を枠取付ビスで仮固定してください。
- ④ 水準器等で鴨居の水平を見ながら鴨居を枠取付ビスで仮固定してください。



調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

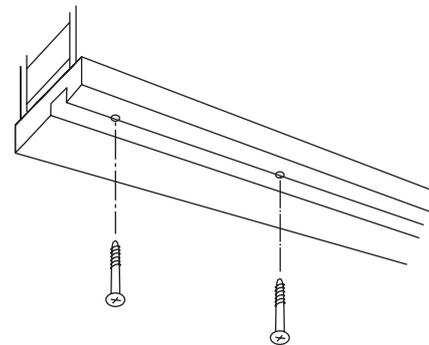
- ⑤ 調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したビスおよび残りの枠取付ビスで本固定してください。



枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。
扉が閉まらない原因となります。



鴨居は同梱の枠取付ビスで下穴から固定してください。



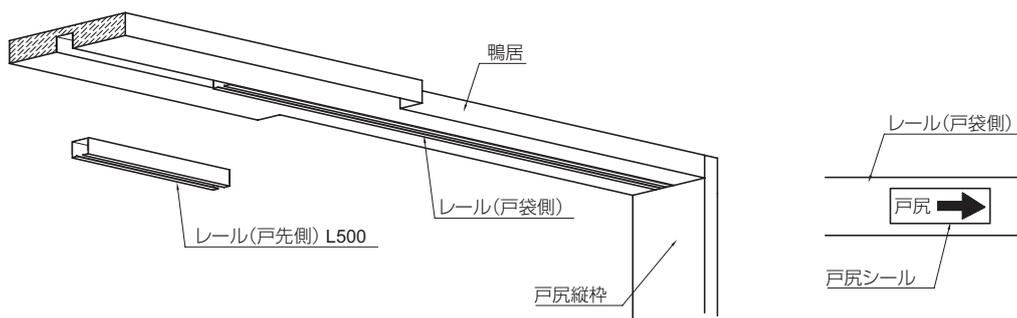
6 上レールの取付け

上レールを鴨居に取付けます。

レールはL 500と、残りの長さに分割されています。(扉吊り込みの為)
L 500は戸先側のレール、残りの長い方は戸袋側となります。

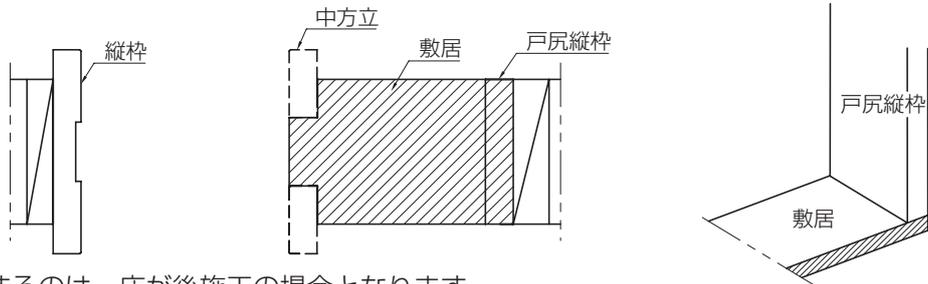
戸袋側のレールのみ取付けをし、戸先側のレール (L 500) は扉を吊り込んだ後に取付けます。

※戸袋側レールは戸尻シールの貼ってある側を戸尻縦枠側に向けて取付けてください。



7 敷居の取付け

戸尻縦枠に合わせ、敷居を取付けてください。
敷居は戸尻縦枠の下に入り込み、戸尻縦枠外に合わせて取付けます。



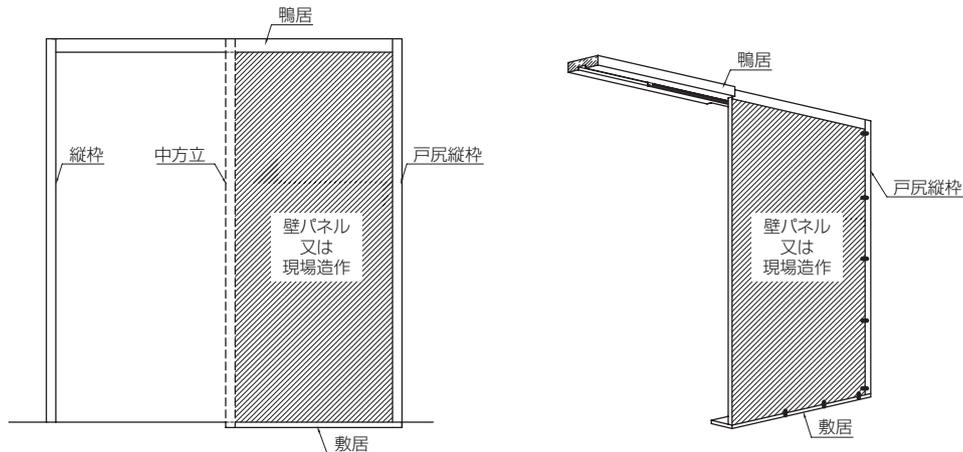
※敷居を使用するのは、床が後施工の場合となります。
床が先施工の場合は敷居は不要です。
床下地に向かってビス又はピンタッカー等で固定してください。

8 戸袋部のパネルの施工(現場造作の場合)

鴨居・縦枠・戸尻縦枠・敷居の施工が終わった時点で、枠内々に壁パネルを施工します。
壁パネルは工場出荷部材(オプション品)を使用しない場合、現場施工になります。

■現場造作の場合

鴨居・戸尻縦枠・敷居の外側に合わせて、現場に合わせた方法で施工してください。



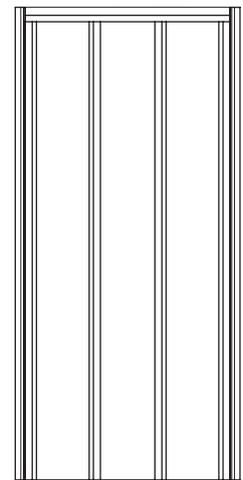
9 戸袋部のパネルの施工(工場出荷品の場合)

■工場出荷品の壁パネル(オプション品)を使用する場合パネルは
鴨居・敷居・戸尻縦枠の内々に納めます。

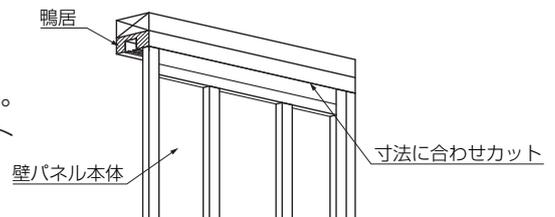
※H2401以上の場合、壁パネルの設定はありません。

木芯材(同梱品)

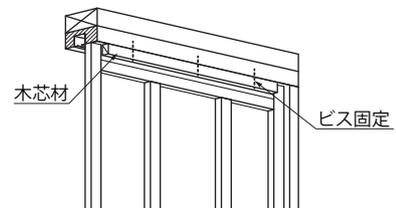
壁パネル本体



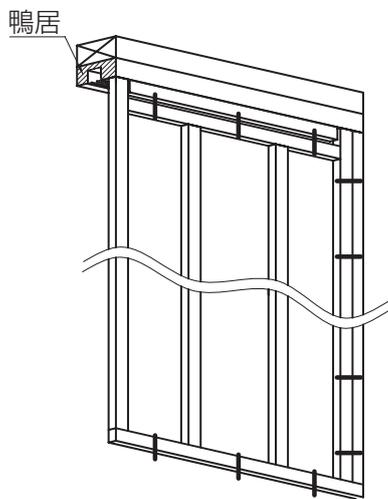
- ①壁パネルを立て、木芯材を取付けます。
木芯材をカットし、壁パネルと同時に取付けます。
同梱の木芯材を必要長さ（10mm程度）カットしてください。
鴨居～敷居（床）までの寸法に合わせて、パネル上部をカット
して調整し、取付ける位置に立ててください。



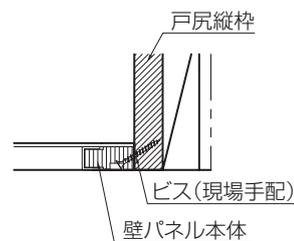
- ②壁パネルの上部を少し鴨居の中央部に向けてずらし、同梱の
木芯材を鴨居の外側に合わせてビス（現場手配）で固定して
ください。
※壁パネルが倒れないよう注意してください。



- ③パネルを床面、戸尻縦枠、上部木芯材へビス（現場手配）で固定してください。

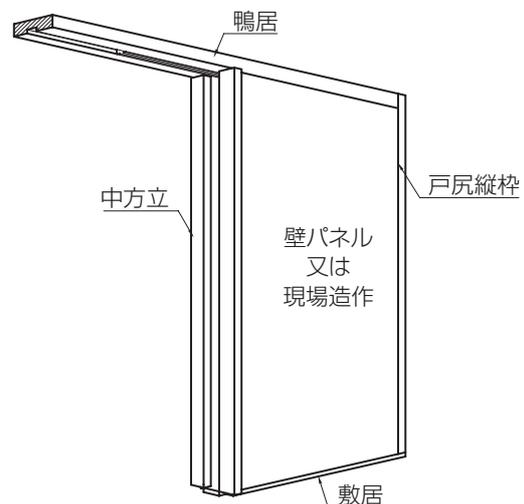
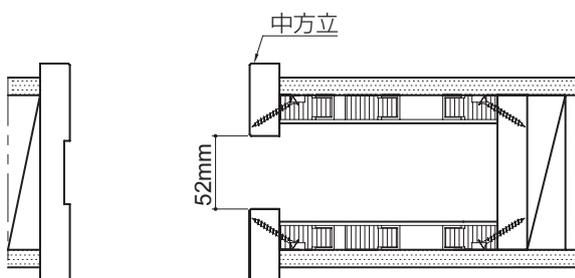


※戸尻縦枠側へは、パネルの溝
から固定してください。



10 中方立の取付け

- 壁パネルに合わせて施工してください。
壁パネルから中方立に向かって、ビス（現場手配）で取付けてください。
※床先貼り施工の場合は、中方立を取付ける前に下端をカットしてください。
※下げ振り・水平器等を使用し、枠の垂直を確認してください。

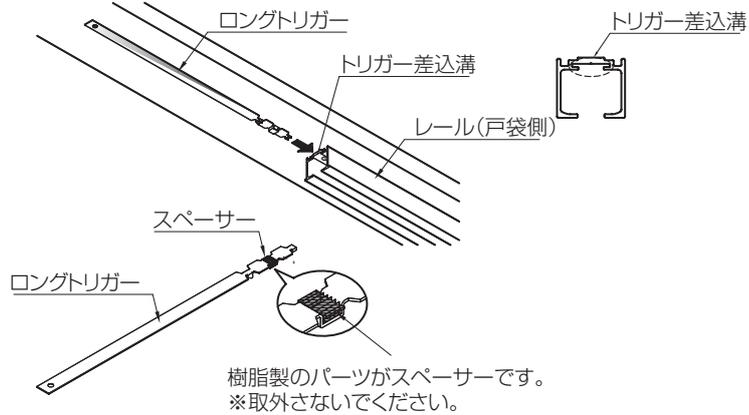


11 ロングトリガーの取付け

戸袋側レールの差込溝にソフトクローズのロングトリガーを差し込み、同梱の取付ビスで固定してください。

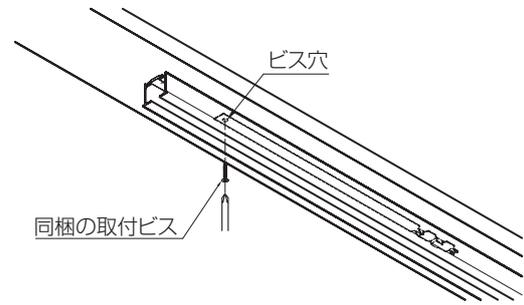
ご注意

ロングトリガーに付属しているスペーサーは、取外さないでください。ロングトリガーが破損する原因となります。



ロングトリガー固定用のビス穴位置は下記を参考にしてください。

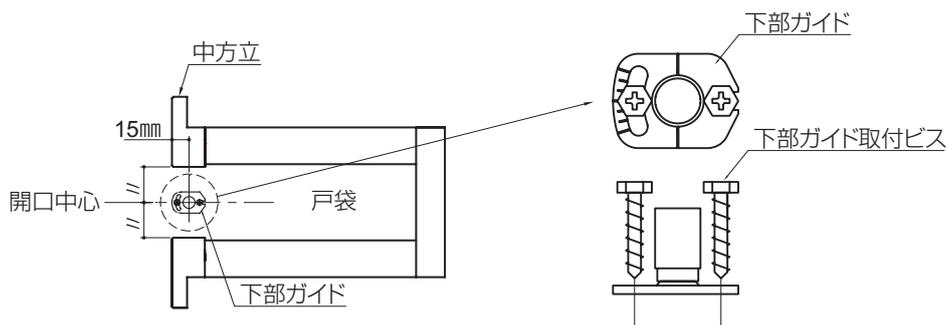
W11の場合：573
W14の場合：703
W16の場合：801
W17の場合：851



12 下部ガイドの取付け

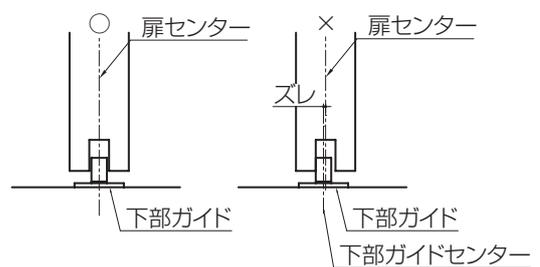
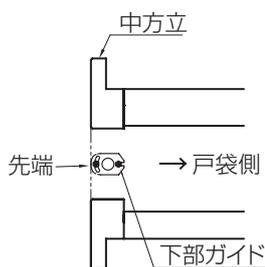
下部ガイドを付属のビスで床又は敷居に取付けます。

位置は、中方立間の開口中心、中方立面より戸袋側に15mm入ったところが下部ガイドセンターとなります。



※下部ガイドの先端が中方立のラインより戸袋側に入らないように取付けてください。

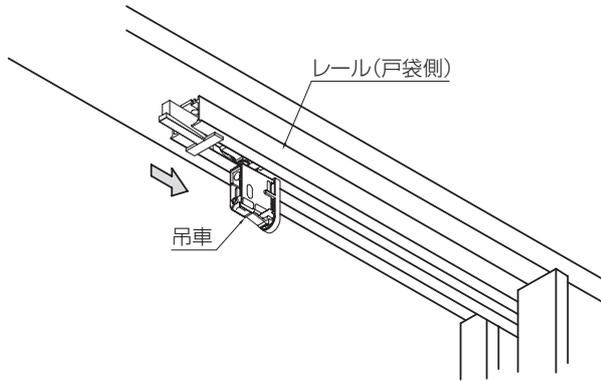
※扉のセンターと下部ガイドのセンターを合わせてください。



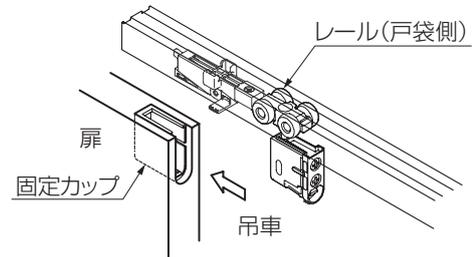
13 扉の吊り込み

戸袋内に向かって扉を吊り込みます。

- ① レールに吊車を挿入してください。
 ※吊車を戸袋の奥に入れないように注意してください。

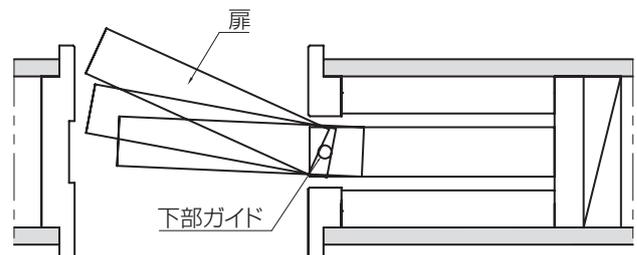
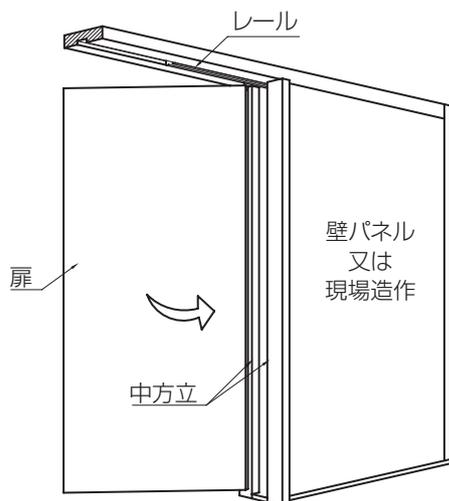


- ② 戸袋側の固定カップに吊車を取付けてください。



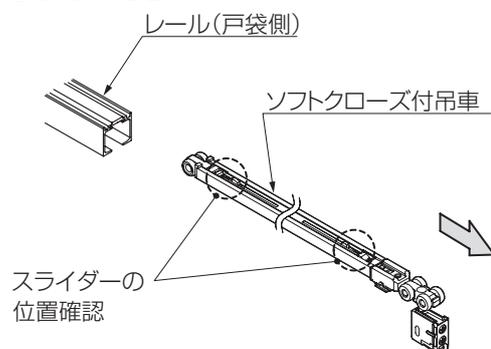
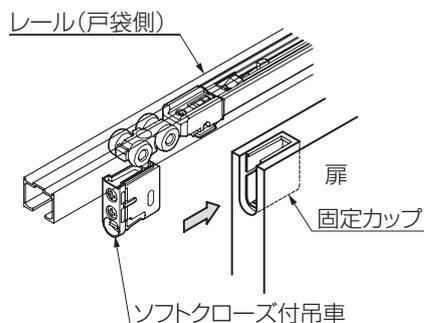
- ※吊車が固定カップに確実にはまっていることを確認してください。
 ※しっかりはまった時、パチンという音がします。

- ③ 扉を戸袋の開口に対して斜めに入れていって下さい。その際、下部ガイドに扉下端のガイド溝を差し込むようにして下さい。



- ④ 扉が戸袋の中に入った状態で、ソフトクローズ付吊車をレールに挿入し、扉の固定カップに取付けてください。

- ※ソフトクローズ付吊車を挿入する際は、下記に注意してください。

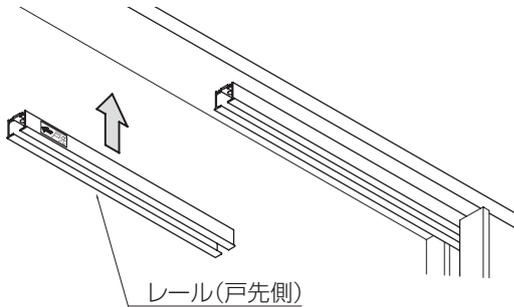


- ※吊車が固定カップに確実にはまっていることを確認してください。
 ※しっかりはまった時、パチンという音がします。

- ※スライダが図の位置になっているか確認してください。
 位置がずれている場合は、正常な位置まで押し戻してから挿入してください。

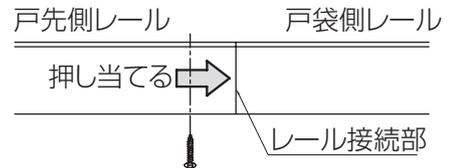
14 戸先側レールの取付

- ①戸先側レールを鴨居に向け、同梱の取付ビスで固定してください。
 ※戸先シールの貼ってある側を戸先側に向けて取付けてください。

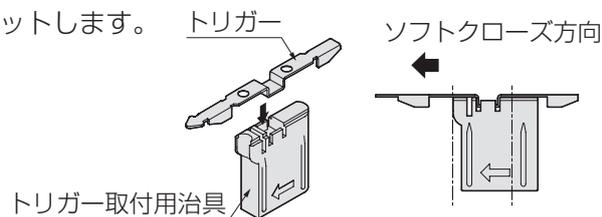


ご注意

接続部にすき間ができないようにしてください。
 戸袋側レールに戸先側レールを押し当てながらねじ止めをすると、すき間ができにくくなります。

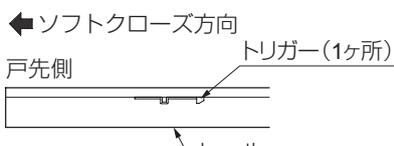
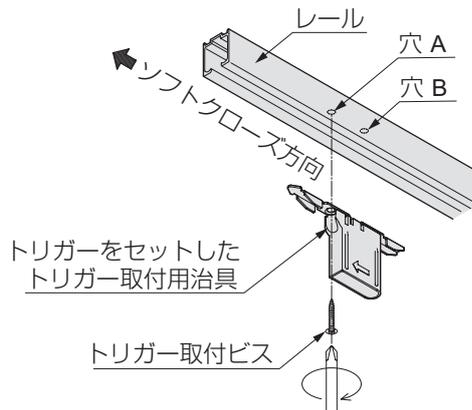


- ②トリガーをトリガー取付治具にセットします。



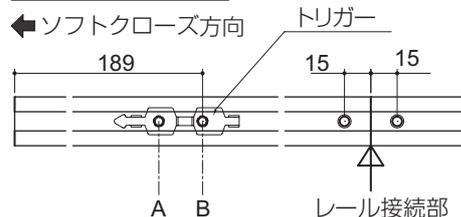
- ③レール穴に取付用治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、「トリガー穴位置」に示した穴Aに取付ビスでトリガーを固定します。

- ④完全に固定されたら取付用治具を下に引き抜き、「トリガー穴位置」に示した穴Bにビス固定してください。

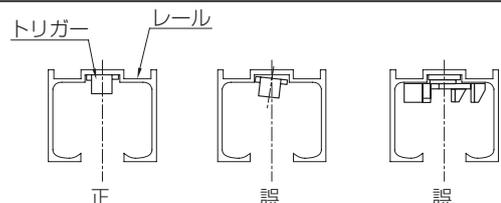


- ※トリガーをレールに1ヶ所取付けてください。
 ※トリガーの向きに注意してください。

トリガー穴位置



- ※治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
 ※トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。
 ※必ず手回しドライバーで締め付けてください。



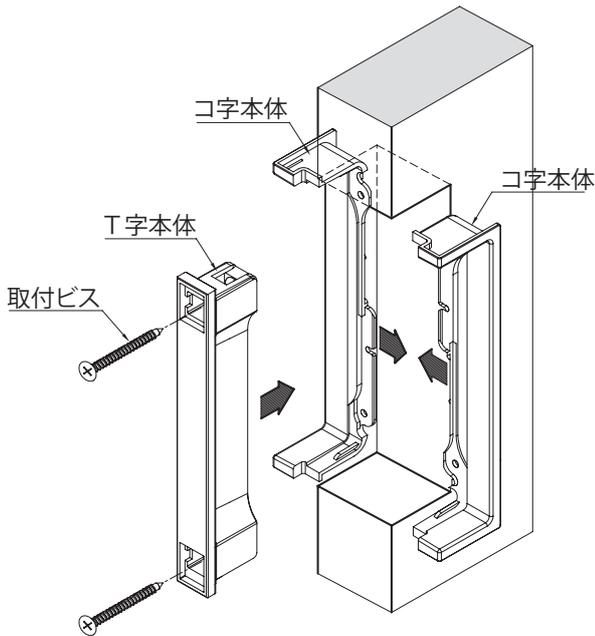
※トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形し、扉の開閉ができなくなるおそれがあります。

15 引手の取付け

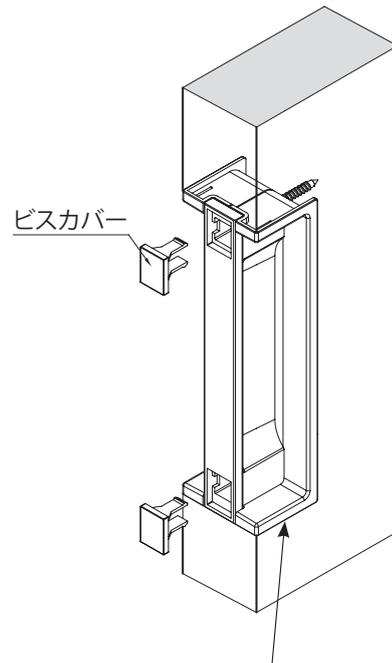
引手は下記部品で構成されています。

- ・コ字本体 ...2
- ・T字本体 ...1
- ・取付ビス (皿タッピンビスφ3.5×30) ...2
- ・ビスカバー ...2

①加工部にコ字本体を左右からはめ込み、正面からT字本体をあて、ビスで固定します。



②ビスカバーを取付けます

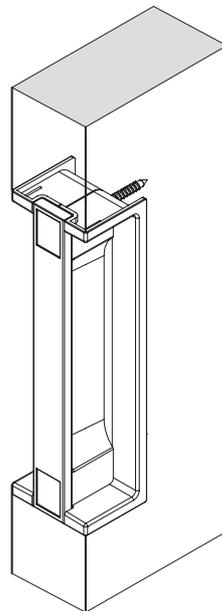


※引手の縁と扉の間にすき間がないように、コ字本体を扉に押し当てて固定してください。

取付け後は右図のようになります。

ご注意

ビスカバーは取付け直しができる仕様にはなっておりませんので、取付けに問題がないことを確認してからカバーを取付けてください。



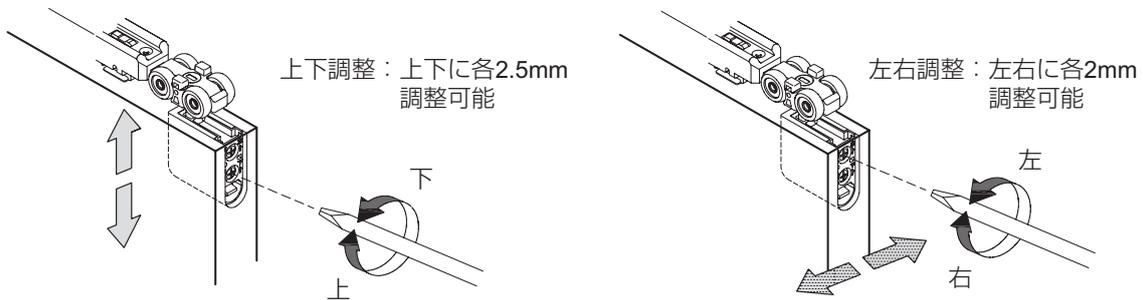
16 鎌錠の取付け

鎌錠付きの場合は、錠を取付けてください。
取付方法は錠セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

17 各部の調整

■吊車の調整

寸法図より寸法を確認の上、下図を参照して吊車の調整ネジで扉と枠及び床のすき間を調整してください。

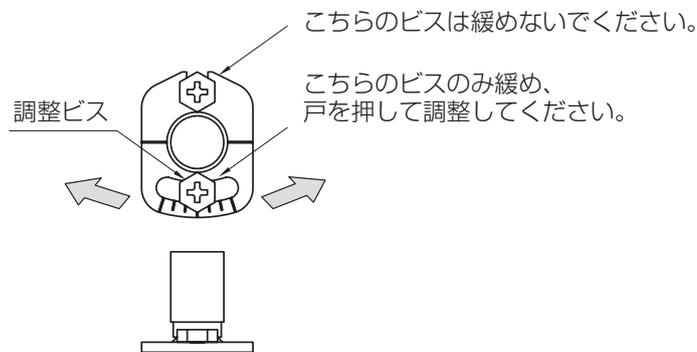


※ソフトクローズの速度調整はできません。

■下部ガイドの調整

寸法図より寸法を確認の上、下図を参照して下部ガイドの調整ビスで扉と枠のすき間を調整してください。

《左右調整：調整範囲6mm》



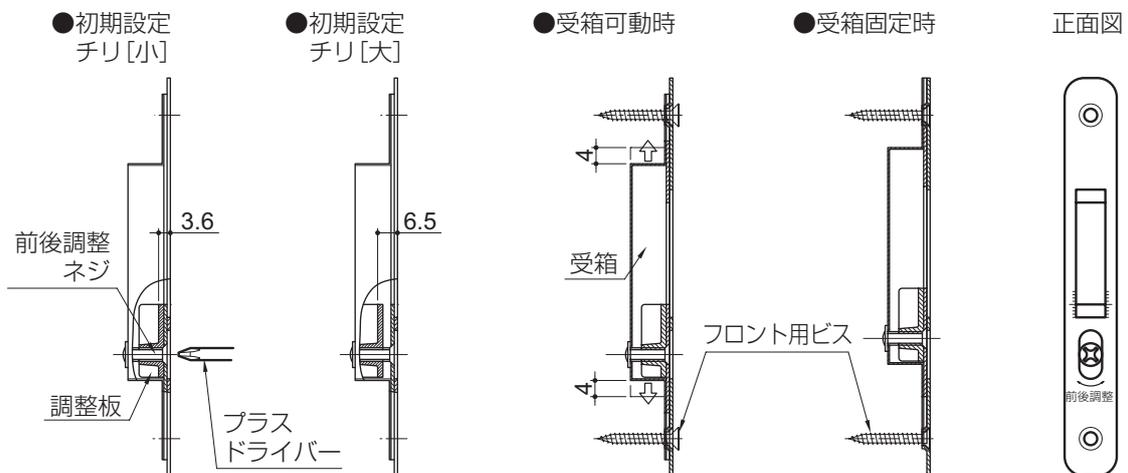
■鎌錠受けの調整

《前後調整：調整範囲2.9mm》

前後調整ネジをプラスドライバーで回し、すき間を調整します。

《上下調整：調整範囲8mm》

フロント用ビスを一旦緩め、受箱を上下に動かして調整します。位置が決まったら、フロント用ビスを締め付けて固定します。

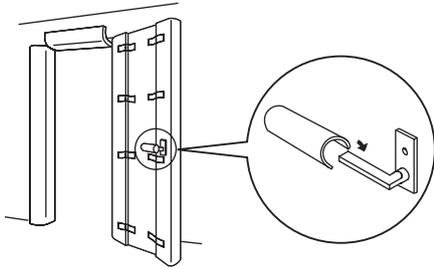


調整は必ず手回しドライバーを使用してください。

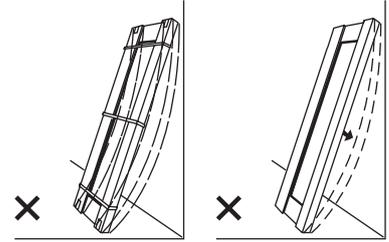
18 養生

工事が完成するまで扉・枠を養生材などで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。

金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

